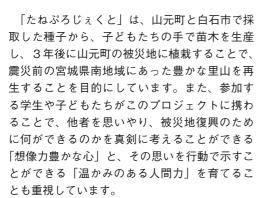


1_国道6号線から海岸方向を臨む山元町の海岸線 2·3·4_種を拾い集めながら交流を深める学生と生徒 5_種を見せ合う児童たち 6_バケツに水を入れて 種を選別する学生と生徒 7_「元気に育ってね」と心を込めて一つ一つ丁寧に種を植える生徒たち



^{かずあき} 一**秋** さん

1970年生まれ。学術博士。 中学・高校時代を白石で暮 らす。新潟大学大学院修了。 専門は森林生態学。



白石市は、中学から高校の青春時代を過ごし 森林生態学を中心とする学問の道に進んできま したが、震災の後、自分の専門を活かして震災 復興に貢献できることは何かと考え、このプロ ジェクトを立ち上げました。次代を担う若い世 代(小学生~大学生)の協働で山元町の里山の 再生に、少しでも貢献できたらと思います。





(上) 磯崎山公園から見た震災前の磯 浜漁港南 (下)現在の同地点。海岸 林や家屋はすべて流された

山元町の豊かな里山を再生しよう 長野大学「たねぷろじぇくと」 白石第二小の児童が希望のタネを播く

実施しました。 種を使い、

塩田西小で種まきを

に分かれてカ

っていないため、植え種に選別。浮いた種は 種を水をはったバ 種の数を競ったり、 学校に戻って 大きさを比べたり 底に沈む種と水面に浮か ぱいに種を拾 からは、 ケツに入 見つけた種 い集めま ,るなど、 拾っ、

山救済・地域性苗木生産プロジ「たねぷろじぇくと」(被災地里 准教授と同大の **石第二小を訪れました。** 大学(長野県上田市)の 先生などに協力を呼び掛け 田市の塩田西小と白石第二 クト)を企画。交流のあっ た高橋准教授が、被災地 再生を通じた復興支援事 大きな被害を受けた山 高校時代を白石市で過 \mathcal{O}

参加した佐藤大夢くんは、

ジェクトの概要を児童たちに説 年7月から準備を進めてきま この日は、 れてカードゲームで充 髙橋准教授がプ

も5月18日に、白石市で集めた上田市の塩田西小の児童たち顔で話してくれました。

に立てたらうれしいです」と笑す」と話し、遠藤雄斗くんはす」と話し、遠藤雄斗くんはす」と話し、遠藤雄子はいたいで

います。7月には学生が再び白山元町内での植樹も計画されて苗木は山元町の坂元小に寄贈。 成長するよう取り組み、育てた年間で20㎝~30㎝程度の苗木に やりや植え替えなどを行い、3百石第二小と塩田西小では水 石第二小を訪れ、 顔を出した芽

みながら学びました。

後児童たちは、

益岡公

学生と児童が

拾っ、

を観察する予定です。

流。この日採取する数種類の種

それを食べる生物を楽し

り組もうという「たねぷろじぇ代を担う子どもたちとともに取を長きにわたって心に置き、次を長きにわたって心に置き、次 大きな芽を出 どもたちの 子どもたちが植えた種 心ととも

することを願 山元町に木々の緑を蘇らせ、すれば60本以上の苗木にな 発芽率は20 寧にプラン なば60本以上 ながら、 から、一つ一元気に成長 順調に